

ゼロ

0から創る奈良

2012.4.6.FRI

vol.48

市民が主役の奈良市政をめざします。

topic

手当削減案、議会で否決

2012年4月6日 仲川げん後援会

仲川げん

書:紫舟



約一カ月に渡り開かれた3月定例市議会が閉会しました。今議会では24年度予算案に加え、職員給与の独自カットや特殊勤務手当(以下、特勤)の削減案を提出・議論しました。特勤は「著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務」に対して支給されるもので、奈良市では「清掃勤務手当」や「大型ごみ業務手当」「夜間業務手当」等、30種・約3億円を支給(22年度実績)しており、約7割が環境部に集中しています。例えば年間約1億3000万円と最も支給額の多い「過重作業手当」は、病気休暇等で休んだ職員の代わりに担当区域外の応援に回ると最大で1回5,250円が支給されます。2番目に多い「廃棄物等処理作業手当」はごみ・再生資源の収集処理に従事した職員に対し、出勤すれば自動的に支払われるもので年間約5000万円の経費がかかっています。奈良市の特勤は他の中核市と比べても4倍近い支給額であり、手当を含む年収ベースでも約780万円(環境部の現業職員平均)と最も高い状態にあります。今回の見直し案では、特勤のうち特に支給額が高く妥当性の乏しいものを原則全廃することとし、24年度だけは激変緩和措置として半額支給とすることを提案しました。これに対し、議会からは「従業員組合との交渉が十分でない」「半減する根拠がない」等の反対理由が相次ぎ、最終的には賛成少数で否決となりました。私は、市民感覚とかけ離れた現在の給与水準や既得権益化した手当は即是正すべきと考えています。今回は議会の反対により改革が阻まれる結果となりましたが、再提案に向け早急に対策を練りたいと思います。併せて現在の直営方式を大幅に見直し、民間委託化に向け大きな決断をすべき時が来たと感じています。財政難の奈良市としては避けて通れない道です。

市長ブログ、更新中!

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます!

携帯からもご覧いただけます。→

市長の日常をより身近に

ツイッター始めました。→ @nakagawagen

<http://www.nakagawagen.net/blog/>



プロフィール

1976年(昭和51年)奈良県生まれ。

北大和(現奈良北)高校を経て、1998年立命館大学経済学部卒業。

帝国石油(現国際石油開発帝石)株式会社を経て、2002年より、NPO法人奈良NPOセンターで勤務。県内NPOの活動支援を行う一方、子どもの体験プログラムや学びを通じた地域活性化事業に取り組む。現場で活動する中、社会を抜本的によくするには、政治や行政を変革する必要があると強く感じ、政治の道を志すことを決意。

2009年7月、「ゼロから創る奈良」を掲げ、奈良市長に当選。

共著「赤ずきんと新しい狼のいる世界～子どもの安全・保護と自立のはざままで～」(2008年・洋泉社)

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: info@nakagawagen.net

3月～4月初旬の活動報告

3月

1日(木)管理職会議、一条高校卒業式、第4回職員病休問題検討委、3月議会調整ほか
2日(金)【出張】衆議院予算委員会公述人、酒井市議来訪、クリーンセンターMTG、交通対策協議会啓発活動@近鉄奈良
5日(月)庁議、奈良市災害ボランティアバスネット設立挨拶、文書法制課・病院事業課ほかMTG、従業員組合との団体交渉
6日(火)環境基本計画・IT戦略会議・機構改革・景観審議会・火葬場問題等、調整
7日(水)3月定例市議会 開会(以降～26日まで)
27日(火)奈良市行財政改革推進本部会議、ストップ温暖化の会来訪、第6回職員病休問題検討委、各種団体異動挨拶
28日(水)佐保台幼稚園閉園式、学生インターン昼食会、都祁総合開発株主総会、包括外部監査報告、事業業務の総点検MTG
29日(木)【出張】第30次地方制度調査会専門小委員会での意見陳述@東京・総務省
30日(金)定例記者会見、退職発令、CIO補佐官退任挨拶、被災児童(郡山・多賀城)受入プログラム@月ヶ瀬

4月

2日(月)人事異動発令、新採職員(102名)辞令交付・訓示、日韓中高生ゴルフ選手権開会式、観光協会専務理事着任挨拶ほか
3日(火)管理職会議、庁議、教育委員長就任挨拶、商工会議所青年部より義援金拝受、全部長との部長マニフェスト協議
4日(水)決裁、新年度事業MTG(子ども政策課)、宇陀市役所訪問、職場体験事業の成果報告(教委)ほかMTG
5日(木)げん気トーク収録、「分かりやすい予算書」編集会議、新年度事業MTG(観光戦略課・観光振興課・商工労政課)

病児保育施設「いちご園」がスタートします

奈良マニフェストのひとつでもある病児保育施設が4月2日に開園しました。この施設は、生後6カ月から小学校3年生までの子どもが、病気のために集団保育が困難な場合に一時的にお預かりするものです。働く親にとって子どもの急な病気は、就労との両立が困難になる大きな要因です。特に大阪への越境通勤者の多い奈良市の特性を考えると、すぐに迎えに行く事もできず、また度重なる早退や欠勤は保護者の就労の継続にも影響を与えかねない問題だと思います。これまで市内では、病後児を受け入れる施設はありましたが、病気中の子どもを対象とした施設は初めてとなります。しかも、市立奈良病院の敷地内併設となりますので、いざという時も安心できる体制をとっているのが特徴です。お困りの際はぜひご利用ください。

【病児保育いちご園】

対象：市内居住の6カ月～小学校3年生
定員：5名
職員：専任保育士2名、看護師1名
時間：平日8:30～17:00
料金：1回2,000円(免除制度あり)
場所：奈良市東紀寺町1丁目21番(市立奈良病院内)
連絡先：0742-24-1251



後援会からのお願い

毎週金曜日(午前7時～8時)は朝立ち(駅頭演説)を続けています。市民みなさんと直接出会える貴重な機会だと思い、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力お願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報広聴課まで。

仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>
Email info@nakagawagen.net
FAX 0742-26-0398

ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街を一緒に創っていきましょう！

